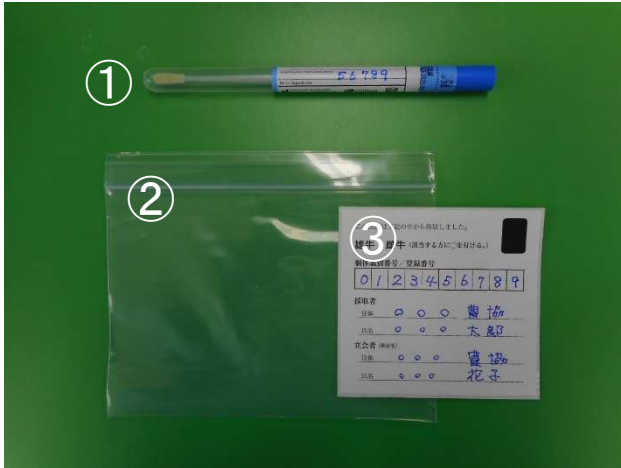


鼻腔内粘膜の採取方法

※双子の場合にはキメラ^産により正確な検査ができないおそれがありますので、あらかじめ毛根の送付をお願いします。キメラの場合は毛根の送付をお願いすることになります。



- ①採取キット、②ビニール袋、③ラベルを1セット用意し、ラベルに採取対象牛の個体識別番号等の必要事項を記入して、ビニール袋に貼付してください

※採取キット容器のラベルの使用は任意ですが、取り違い防止のため、個体識別番号(一部)の記入をお勧めします。



- 2 採取キットを持って採取対象牛の頭部側に立ち、個体識別番号を確認してください。



- 3 青色のキャップを捻って、閉封シールを点線で破り、綿棒を採取キット容器から抜き出して、柄の中間部分をしっかりと握ってください。



- 4 鼻孔周辺の汚れをペーパータオル等で拭き取ってください。その際、綿棒の綿球部分に汚れが付かないように注意してください。

※飼料等の異物が混入すると正確な検査結果が得られません。



- 5 頭部を固定して、綿棒を鼻腔内の奥まで挿入し(先端から5cm程度)、綿球部分を鼻腔内壁に押し当て、鼻腔内粘膜をこそぎ取るように5回程度回転させて、十分に付着させてください。

※鼻腔付近に付着した鼻汁のみでは検査結果が得られません。



- 6 採取後、綿棒を鼻腔内から抜き出して、速やかに採取キット容器に挿し戻し、キャップを奥までしっかりと押し込んでください。



表

- 7 ラベル貼付済みのビニール袋に採取キットごと入れ、速やかに(翌日までが望ましい、**冷蔵保存**)家畜改良事業団遺伝検査部宛てに送付してください。

※試料が劣化した場合には試料の再送付をお願いすることになります。



裏

- 8 試料の劣化防止のため**冷蔵送付**をお願いします。

※試料が劣化した場合には試料の再送付をお願いすることになります。

注キメラとは双子など多胎妊娠の場合に胎子の胎盤の血管が吻合して造血細胞が交換され、複数個体由来の血液細胞が生産されることをいいます。